



外来管理治療棟建替等 整備工事について

企画課長 磯野 隆

今回の新外来管理治療棟の整備にあたり、「患者・家族・スタッフのすべての利用者にとって、分かりやすく・快適・安全・安心の診療環境づくり」とした整備計画のコンセプトを基に全職場が関わって設計図ができあがりました。

この工事により、新外来管理治療棟と既存の西病棟の1、2階部分を2本の廊下で接続し、入院患者さんの検査やリハビリ、手術への動線を確保する等、当院を利用するすべての方の利便性の向上を図ることが出来ます。また、新外来管理治療棟の病棟側2階3階部分を1階部分よりも後退させることにより、隣接する西病棟への採光と病室からの景観を損なうことがない建物となります。

旧病棟の跡地に新外来管理治療棟を整備するため、解体前に既存配管の切り回し等で当初の予定より時間を余分に要しましたが、今年12月のオープンを目標に現在は新外来管理治療棟の本体部分の工事に入っております。

病院を運営しながらの施工で既にご迷惑をお掛けしておりますが、引き続き、ご入院中の患者さんや外来患者さん、また当院を利用される皆さんの安全に十分に配慮して工事を進めて参ります。



●完成予想図
(新)外来管理治療棟 鳥瞰図(イメージ)

●建物概要 外来管理治療棟

- 1階 各科外来、放射線科、医事室、地域医療連携室、売店
- 2階 手術室、中央材料室、薬剤部、検査科、リハビリテーション科
- 3階 医局、事務室、会議室、研究室

●工事定例会議の様子

(左上から業務班長、企画課長、設計者他)



●現在の工事状況

平成29年1月19日



平成29年3月23日



医師向け結核研修会を開催いたしました。

診療部長 佐藤 敦夫

本年もまた医師向けの結核研修会を開催いたしました。宮野前院長による京都府下の結核の現状報告の後、私と、放射線科の游Dr、小児科の徳永Dr・吉松Drで、計3時間半の講義を行いました。今年からは受講すると抗酸菌認定医の認定単位5単位が取得出来ます。

医師会での講演と重なり、受講者が少ないのではと心配しておりましたが、50名近くの先生方にご参加いただきました。定期的に受講されている先生も多かったのですが、いくつかの病院では、病院の勧めで若い先生方が受講されていた様です。ベテランの先生が受講され、若い先生に受講を勧めただけだと嬉しい限りです。

結核診療について必要な知識をお伝えするだけでは退屈なものになりがちですが、各先生方が工夫いただき、最新のトピックスや珍しい症例を交えた興味深い講習会となりました。今後もまた「聴いてよかった」と思っただけのような講習会になるよう頑張ります。

結核研修会(コメディカル)について

東病棟 看護師 松原 美由紀

10月18日文化パルク城陽で、当院主催の結核研修会が行われました。医師・看護師・薬剤師・検査技師・介護職員・看護学生等95名が参加、「結核の基礎知識」「抗結核薬について」「結核菌の検査」「結核患者発生時の対応と服薬支援の実際」について医師、薬剤師、検査技師、山城南保健所保健師等が各専門分野の講義を行いました。私は「結核患者の看護と事例紹介」を担当しました。内容は、一般病院での結核発症時の対応、当院での院内DOTS、外来DOTSの紹介および事例紹介です。DOTS(Directly Observed Treatment Short course(直接監視下服薬短期療法:WHOが推奨する治療法))とは、患者さまが薬を飲むのを医療従事者が目の前で確認し服薬を支援することで、現在の標準的な結核の治療方法です。退院後も服薬が継続できるように地域の皆様との御理解・ご協力が不可欠であることを伝えました。また、事例紹介では服薬継続が困難と思われた方への薬局DOTSの導入とアプローチの紹介をしました。参加者からは、地域DOTSの一部を担えるように頑張っていきたい等の嬉しい声が聞かれました。



今後も服薬完遂を目標に結核患者さんを支え、当院が中心となり地域連携の輪を広げ情報発信と看護の充実に取り組みたいと考えています。

神経難病研修会について

臨床研究部長 川村 和之

神経筋難病研修会は、京都府南部地域における神経筋難病医療の地域連携の推進を目指した南京都病院主催の研修会です。平成17年度から始まり、12回目を迎えた本年度は平成28年12月7日に文化パルク城陽で開催されました。本年度のテーマは筋萎縮性側索硬化症(ALS)で、その病態、コミュニケーション支援、入院患者の看護と在宅支援について、私と柏木作業療法士、西3階病棟の山川師長、藤井看護師、北吉看護師が講演をしました。そして、難病患者の在宅療法支援について山城南保健所の北川先生にご報告頂きました。介護支援専門職、看護師の方々を中心に57施設から計83名の参加があり、講演後には活発な質疑応答がありました。研修会終了後のアンケートでは9割以上の参加者から「とても参考になった」あるいは「参考になった」と評価を頂き、私達のALS診療と看護の実際を地域の専門職の皆さんにお伝えすることが出来ました。

少子高齢化社会の到来と医療費の増大に直面し、国の医療政策が大きく転換されようとしています。神経難病患者に対する医療も例外ではなく、今後、在宅療養する難病患者が増加すると推定されています。このような状況では言うまでもなく、地域で難病患者を支えていく必要があります。地域連携の強化や難病医療の質の向上のために中心的役割を果たすことは南京都病院の責務であると心に銘記し、今後も地域での活動を続けていきたいと思っております。

地域に根ざした健康増進プロジェクト

—高齢者健康教室『認知症・もの忘れ疾患についてのお話』—

診療部長 岡 伸幸

平成29年1月31日、文化パーク城陽にて、高齢者健康教室（笑いヨガ、座ってできる認知症予防体操について）を開催しました。30名の方に参加いただき、神経内科医師から認知症をおこす疾患について、その診断や治療の話を、作業療法士からはもの忘れチェックを行い、また認知症予防につながる笑いヨガなどの実演をまじえて楽しんでいただきました。一般に関心が高まっている認知症ですが、疑問に思われていることも多く、その解決の一助になったかと思います。また治療や予防法についても、今後さらに発信していきたいと考えます。



※講演などのご希望があれば、お気軽にご連絡ください

レポートミーティングを終えて

教育研修委員会 副委員長 角 謙介
白井 智子

平成28年度の総仕上げともいえるレポートミーティングが、3/13（月）～3/15（水）の3日間無事終了しました。発表は口演29題、ポスター29題のエントリーがあり、各部署の今年度の活動のありようが良く分かる、良く伝わる発表でした。

優秀賞は、東病棟の服薬完遂、西病棟3階のチャレンジ、西病棟4階のN P P V導入に向けての関わりの3題でした。目立たなくとも確実にじっくりと活動をし続け、看護の質向上に貢献していることが理解できる素晴らしい演題でした。

最優秀賞として選出された、薬剤部の土江亜季さんの「超音波振動を利用した簡易懸濁法による作業の迅速簡便化に関する検討」のテーマにおいても、病院診療看護上の特性を上手くつかんだ発表で、患者を取り巻く多職種が一丸となって検討している実態が伺え、また患者の目線にたった、患者のニーズに答える環境が充実していった手応えを得ました。これからも教育研修委員会は、そんな皆さんの学習意欲に答えられるよう、研修を計画し、ますます医療看護の質向上にむけて支援していきたいと考えています。

これからも毎年、ますます活発なレポートミーティングにしていきたいと思います！



地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

地域の皆様と協力しながら、地域医療を推進しています

かどさか内科クリニック

内科・消化器科

院長 門阪 庄三 先生



当地に開業して17年です。あっという間の17年です。当地に不慣れな開業でしたので最初はクリニックを軌道に乗せることに気が向いてばかりで、かかりつけ医として十分機能していなかったと反省しています。元々消化器内科医でしたが、開業してからはジェネラル医になる覚悟を決めていましたので、元気で優秀なスタッフと一緒に市中肺炎をはじめとする感染症の治療、生活習慣

病の指導・治療、がんの診断と専門医への紹介を中心に診療していました。しかし、時代が少しずつ変わってきました。認知症ケアや在宅医療が開業医の標準装備になってきました。医師一人では完結できない疾患の治療やケアには地域包括支援センターやケアマネジャー、訪問看護・介護との協力が欠かせません。そしてもちろんのことですが、基幹病院の後方支援なくしてはこのような地域医療はできません。そして現在、高齢者医療の喫緊の課題は認知症ケアと誤嚥性肺炎予防の摂食支援です。この分野で多くの実績と経験を持つ南京都病院との連携に大きな期待を持っています。

■ 京都府宇治市平尾台4-3-2
■ TEL 0774-31-1077
■ FAX 0774-31-1087

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○
午後診 17:00~19:30	○	○	×	○	×	○	×

■ 日曜日・祝祭日



御利用者様・ご家族様のお気持ちに寄り添いながら、安心できる在宅支援をさせていただきます

訪問看護ステーションふくろう

訪問看護

訪問介護



平成26年5月に、武田病院グループの訪問看護ステーションふくろうとして、開設されました。サービス提供は、伏見区向島・宇治市・久御山町地域を担当させて頂いています。

住み慣れた家庭で、安心して生活を送って頂けるように、かかりつけ医師の指示を受け療養上必要となるお世話や処置などさせていただきます。

御利用者様、御家族様のお気持ちに寄り添いながら、主治医・ケアマネジャーさんとの連携を図り、安心出来る在宅支援をさせて頂けるよう努めていきたいと思っておりますのでよろしく御願い致します。

また、訪問介護も併設しておりますので、御利用頂けたらと思います。

■ 宇治市五ヶ庄戸ノ内19-1
■ TEL 0774-94-6068
■ FAX 0774-94-6069

■ 営業日・営業時間

平日 午前8:30~午後5:00

定休日 土曜日・日曜日

※ (24時間緊急対応可能)



リハビリテーション科のおしごと

スタッフは、医師1名、理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士2名です。(呼吸療法認定士5名が含まれています)

理学療法では、基本的な日常生活動作の改善を目的に、運動療法や物理療法、日常生活動作訓練などを行っています。

作業療法では、応用的な日常生活動作の改善を目的に作業を用いた運動、動作訓練、認知機能訓練及び日常生活動作訓練を行っています。

言語聴覚療法では、コミュニケーション機能の向上、摂食機能の改善を目的に言語・聴覚・認知能力を含むコミュニケーションの訓練や、摂食機能訓練を行っています。



パーキンソン病患者の理学療法

小刻み歩行、すくみ足に対して床の線を目安にした歩行訓練を行っています。



重症心身障害者への理学療法
筋緊張の調整や呼吸機能の改善に働きかけています。



COPD に対する理学療法
自転車運動を利用して持久力の改善をはかっています。



ALS 患者の作業療法

特殊なスイッチを利用した意思伝達装置の操作指導、訓練



COPD に対する作業療法
息切れの少ない日常生活動作方法の指導



重心障害児への作業療法
遊びのなかでの手や腕の運動訓練



神経難病患者の言語療法
発声、構音訓練



重症心身障害者への言語療法
摂食嚥下訓練

このほか様々な疾患や障害に対して多職種協働して総合的なアプローチ・支援を行っています。

新採用職員紹介

教育担当看護師長 金田 淳子

平成 29 年 4 月 1 日に辞令を受け、多くの看護師、コメディカル等が南京都病院の新メンバーとして入職しました。

南京都病院の理念に基づき、分かりやすく安全で、安心して受けられる質の高い医療が提供できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



『健康フェア』を開催します

南京都病院は地域の皆さんの健康管理のお役に立ちたいと思っています

『健康フェア』 ～笑顔は健康なからだから～開催します

日時 平成 29 年 5 月 27 日(土) 10 時～16 時
 場所 アル・プラザ城陽 1 階プラムコート
 内容 骨密度測定・血圧測定・呼吸機能検査・血管年齢測定・キッズ写真コーナー・もの忘れチェック等 (無料)



前回の開催の様子

交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
 - JR 学研都市線 京田辺から
 - JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20 分
- *... 各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- 呼吸器科
- 神経内科
- 小児科
- 内科
- 外科
- 消化器科
- 呼吸器外科
- 循環器科
- 整形外科
- 皮膚科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科 (入院患者のみ対象)
- 歯科 (入院患者のみ対象)
- 耳鼻いんこう科 (休診中)

独立行政法人国立病院機構 南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
 TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
 URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 231)
- 地域医療連携室 直通 FAX 0774-58-0270
- E-mail renkei@mkyoto.hosp.go.jp